

為せば成る

発行日：平成 29 年 7 月 9 日

文 責：校長 渡辺 哲雄

連絡先：0242-64-2022

みなさん、こんにちは。4 月に校長として赴任しました渡辺哲雄です。遅くなりましたが、どうぞよろしくお願いいたします。

毎週、学級担任の心のこもった学年便りで行事の様子などをお伝えしておりますので、この学校便りでは、中学校の経営方針や保護者・地域の方々をお願いしたいことなどを中心にお伝えします。

題字について

題字の「為せば成る」は、江戸時代の米沢藩 9 代藩主である上杉鷹山の「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」という名言から取りました。「やればできる可能性がある。やらなければ可能性はゼロである。できないというのはやらないだけかもしれません。」という意味です。私も、私の母からのこの言葉で勇気づけられたことがあります。



【上杉鷹山】

吾妻中の生徒たちはわずか 33 名ですが、皆将来きら星のごとく輝く可能性を持っています。この生徒たちが輝くために、私たち大人が何をしてあげられるのかを常に考えて学校経営を行っていきたいと考えています。保護者・地域の方々のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

学校経営方針について

4 月に赴任した際に、本校の教職員に、次のような校長の学校経営基本方針を伝えました。

- 1 新たな視点・観点で改善し、学校づくりを行っていくこと
- 2 全教職員が「チーム吾妻中」として一丸となり、教育目標の具現化に取り組むこと
- 3 地域に寄り添い、保護者・地域の願いが実現できる教育活動を実践すること

特に、「生徒が未来に希望を持つことができる学校」を目指して、「学習指導」「道德教育」「部活動」「キャリア教育」を充実させたいと思います。

情報発信・公開について

吾妻中学校での教育活動について、できるだけ情報発信・公開を行っていきたいと考えています。

特に、学校 Web ページで積極的に発信していきたいと思います。「学年便り」「保健便り」「図書便り」等についても、個人情報に配慮しながら掲載していきます。ぜひ一度ご覧ください。



部活動の精選について

昨年度からの懸案事項であった部活動の精選について、新人戦終了までに結論を出すこととなっていました。4月23日に行われたPTA総会で説明しましたが、本校の部活動については、現状の「野球部」「バレー部」「卓球部」の3部体制とします。その理由は次の通りです。

- ① 現在、少数ながらも生徒たちは一生懸命活動しており、廃部にすれば生徒の目標や楽しみを奪ってしまう。
- ② 生徒に部活動を選択するという権利を与えたい。
- ③ 教師数は減っていないため、それぞれに正副顧問を配置できる。
- ④ 大会には、「他の学校に混ざる」「他の学校の補欠メンバーを入れる」「3年生を入れる」等の代替措置での出場が可能である。

今年の1・2年生は、バレー部が8名なので大会にも出場できます。卓球部は男子2名女子2名なので団体戦には出場できませんが個人戦には出場できます。野球部については、1・2年生合わせて5名しかいないため、小学5・6年生の希望者が練習に参加することを呼びかけ、新人戦への参加方法については、現在検討中です。



授業の充実について

本校では、すべての生徒が「学習意欲を持って日々の授業に取り組み、知識や技能を習得・活用して、よりよく課題を解決する生徒」になることを目指しています。

そのためには、P（計画）→D（実行）→C（評価）→A（改善）サイクルを意識化し、日々の授業が充実するよう、見通しを持たせた授業づくりを行っています。特に今年度は、次のようなことに留意して指導していきます。

- ① 具体物の提示や生活場面との関連づけなど、生徒の思考を活性化させるような工夫
- ② 学習体験の質を高めるため、小集団活動の活用
- ③ 交流活動から新たな気づきを引き出すような場の設定
- ④ 振り返りの場面で、根拠や解釈を記述させる場の確保

生徒たちが目を輝かせて授業に取り組めるように、今後の研究授業等によって検証しながら、授業改善に全教員が取り組んでいきたいと思っています。



【小・中連携授業研究会の様子】

御 礼

例年行っている本校体育後援会特殊寄付にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。部活動等において、生徒が活躍できるようバックアップするための資金として、有効に活用させていただきたいと思っております。

なお、生徒の活躍の様子は、本校 Web ページにて発信するとともに、「体育後援会だより」等でお知らせして参ります。